

## 平成30年度第1回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：平成30年度第1回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：平成30年5月24日（木）午後1時30分～午後3時48分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者：協議会委員 柴山 裕子／浅川希久子／堀内 直美／須田 由美子  
中山 洋美／金子 朋子／小澤 志保子／  
須玉中図書館司書 浅川希久子  
事務局 坂本図書館長／深澤 寛美・小野 まどか・櫻井 たけ子（総務担当）／板垣 愛未（すたま森の図書館）／大平 真衣（たかね図書館）
- (5) 議題： (1) 平成30年度事業計画と予算について  
(2) 第二次子ども読書の杜プランの進捗状況について  
(3) その他  
  
報告： (1) 各図書館からの近況報告について  
(2) その他
- (6) 公開・非公開の別：公開
- (7) 該当なし
- (8) 傍聴人の数：2人
- (9) 審議内容  
議事録署名は、山中長壽委員、手塚正子委員に決定した。

### 議 題

#### 1) 平成30年度事業計画と予算について

\*事務局より30年度事業計画について説明。

- ・全体事業としては、昨年度に引き続き「ブックスタート事業」、「セカンドブック事業」、「やまね便り」、「土曜ことば楽」を予定している。「土曜ことば楽」の講師をしていた名誉館長の金田一真澄先生が、4月より長野県立大学の学長に就任したので従来のように講師をすることは難しい状況になった。その代わりに、春彦先生の長女の田中美奈子氏が講師を引き継いでくれることになりました。

\*事務局より30年度予算について説明。

- ・30年度の図書館予算の総額は、71,002千円。

- ・今年度より、各図書館の経費を明確にする目的で各館別に予算を作成した。各館ごとの予算を作成したのは初年度なので、全体予算の中で説明したほうがわかり易いと思うので、全体予算で比較増減を中心に説明します。
- ・臨時職員26名の人件費はシーリング対象外です。126千円増額されているのは司書資格を取得した職員がいるのでその分増額になりました。
- ・アルバイト職員19名の賃金は、101千円の減額となった。時給単価が10円増額した分は、特別協議分として認められているので本来より減額分は少ない。2%のシーリング対象です。
- ・新規予算として図書館メール便のアルバイト賃金については、昨年の4月までシルバー人材センターに委託していたが、契約ができなくなり5月より図書館で直接アルバイト職員を雇用したためです。
- ・使用料及び賃借料でデジタルアーカイブが公開となりシステム使用料が、昨年度は8ヶ月分だったが、今年度は4ヶ月分増額となったためです。
- ・工事請負費で昨年度は、金田一春彦記念図書館の屋根の改修工事をしたが、今年度はたかね図書館の雨漏りの改修工事をします。
- ・備品購入費で659千円の増額となっている。金田一春彦記念図書館の電話機を購入するため。
- ・金田一真澄名誉館長が事業に参加できないということで、報酬を60万円減額し、代わりに田中美奈子先生が事業をすることになったので報償費が493千円増額しました。

会長：図書等購入費が5%のシーリングがかかって減額になり11,987千円になったが、来年度また5%のシーリングがかかると1千万円を割ってしまう。このままいくとゼロになってしまう。ここだけは、5%のシーリングがかからないよう強く要望してはどうですか。

事務局：人口5万人規模の市の予算額では上位にある。次回の協議会で、全国的にどのレベルにあるか分かる資料を付けます。

来年度の予算を要求する時、協議会で強い要望があったことは伝える。

委員：「土曜ことば楽」ですが、名誉館長の真澄先生は、一度も参加できないということなのですか。

事務局：今年度長野県立大学の学長に就任して、初年度ということでどういうスケジュールが組まれているのかわからない。今年度については、お姉さんの田中美奈子先生が引き継いだら、来年度以降は何回か参加することになっています。

委員：4回すべて田中美奈子先生が開くということですか。

事務局：今まで金田一真澄先生と受講生の中から講師を選んで、同じテーマで受講生が講演をして、それを受けて真澄先生がするスタイルだった。美奈子先生がすることになれば多少スタイルは変わります。第1回は、金田一春彦先生は、実は

若い頃音楽家になりたかったということで、「白いボートに夢を載せて」というタイトルで、小淵沢図書館前の小さなホールで金田一春彦先生が書いた作曲集の音楽会をします。その進行や曲の説明を美奈子先生がします。第2回目は、美奈子先生がゴルフ雑誌のライターというのには有名で、ゴルフの話をして。第3回目以降は、今までどおり地域の方の中から講師を選ぶ形で、美奈子先生に関わっていただき実施します。

委員：報償費が多少低くなっているのは、名誉館長でないからですか？

事務局：報償費65万円の内訳は、12ヶ月かける5万円と特別報償で5万円です。

名誉館長はそのまま続けるので特別報酬の5万円だけ残して、「土曜ことば楽」にそのままスライドさせた。60万円に5%のシーリングがかかって57万円になった。

委員：シーリングの5%は、項目ごとにかかるのですか？たとえば運営事業費という枠の中でかけられるのですか。

事務局：事業予算の枠に対してシーリングがかかります。

委員：予算を図書購入費にあてられるということですね。

事務局：できるだけ図書購入費にシーリングが減額しないよう調整したいと思います。

## 2) 第二次子ども読書の杜プランの進捗状況について

### \*事務局よりプランの結果について説明

- ・平成25年～29年までの実施状況を報告します。

児童館・放課後児童クラブ・つどいの広場の結果です。昨年は小淵沢の放課後児童クラブが低学年と高学年に分かれたので報告数は22施設になった。読み聞かせやおはなし会を実施している施設数は1増となった。図書館の団体貸出を利用している施設は若干増え、図書館との共催によるイベントはわずかに減少しています。

- ・学校における推進状況。28年度同様全ての学校が朝読を実施している。毎朝実施する学校が7校から8校に1増となった。28年度はおはなし会やブックトークをすべての学校が実施するようになったが、29年度は未実施の学校が3校ありました。理由は読書週間のイベントの一環として実施していたが、29年度は違うものを実施したので未実施ということになった。家読の推進を行っている学校数については、1校増加した。市内全ての小中学校で取り組んでいます。
- ・保育園における推進状況。異年齢交流による読み聞かせを実施している施設は、2施設から1施設に減少した。ボランティアが読み聞かせをしている施設は11施設から14施設に増加した。けれども毎月複数回実施していた施設が3施設から0施設となった。月に1回以下という施設が8施設から14施設になった。団体貸出を利用している施設は昨年の11施設から10施設に減りました。
- ・図書館においては、児童書の購入については全体予算の削減に伴い、80冊ほど減

少している。読み聞かせやお話会は参加人数ともに減少の傾向にある。定例のお話会は、29年度は15件です。内訳は224回で参加者が1757人参加者しました。15件のうち参加者が増加したのは4件のみでした。あとは同じか減少しています。原因は300人ほど参加していたお話会がなくなったためです。15件中、土日曜日開催は5件だけでした。平日共働きの家庭では、参加が困難だったと思われます。

- ・全体の課題は、小・中学校については、読書推進に力を注ぎ、ほとんどの学校が朝読やおはなし会などに取り組んでおり、保育園においても徐々におはなし会などの実施が増えてきているが、児童館などの児童施設においては読書推進が停滞気味です。
- ・保育園や児童館などの図書館の団体貸出制度の利用は、着実に増加しているが、今後も引き続き、団体貸出の制度の利用を促進しながら、読書推進をしていく必要があります。
- ・土日曜日お休みの共働きの保護者が子どもと一緒に図書館で開催するお話し会に参加しやすくするため、読み聞かせやお話会の実施曜日を土日曜日に多く設定する工夫が必要です。
- ・28年度からスタートしている本の杜への招待事業ですが、絵本の引き換え率が平成29年度は33.3%でした。

会 長：第2次子ども読書推進活動計画の結果報告について何か質問ありますか。

保育園で開催回数が減っている理由は？

事務局：減っている理由までは確認をとっていません。

委 員：団体貸し出しを利用していないことに驚いた。保育園全部に団体貸し出しを広げて欲しい。保育園にない本の読み聞かせをボランティアさんにまかせても良いと思う。

会 長：スペース的に本を置けない保育園がありますか

委 員：保育園にスペースはあると思います。

事務局：第2次の計画を立てる時、子育て支援課の委員がいなかったのをお願いできなかった。第3次の計画を立てる時は、保育園の関係者や課長にも関わってもらい、指標を立てて取り組んでもらえるようにした。今年からお願いしやすくなったので改善できると思います。

会 長：他に何かありますか。

委 員：本の杜への招待事業ですが、引き換え率が3割しかいないことの原因と今後のどのように改善していくのですか。

事務局：開催日を土日曜日にとすることは、先ほど説明しましたが、共働き世帯が多い

ので工夫しなければならない。

会 長：図書館のイベントに参加しても本がもらえるような形にしてはどうか？

事務局：制度の原則は、図書館に来てもらうことです。本は来たときのプレゼントです。別の普通の日でも図書館で引渡ししているし、イベントでも渡していることはアピールはしています。

会 長：もっと PR していけば、率があがると思うので PR して欲しいです。

委 員：用意して引き渡さなかった本はどうしているのか。

事務局：次の年度の子どもに渡すことになります。1年間の引渡し期間を決めているが延長もしています。

事務局：委員さんから良い案がありましたら、ご指導をお願いします。

委 員：きっかけが必要だと思う。働いていて本を読めない家庭に、愛育活動の中で声掛けをしたり、民生委員や児童委員からも声掛けをしてもらうのはどうか。地域全体で見守るのがいいと思います。

事務局：取り組んでいきたいと思います。

### 3) その他

- ・保育園の臨時職員が嘱託職員になったことで、図書館の臨時職員も責任ある仕事であるので処遇改善は、その後どうなっているか

事務局：平成31年度から一斉に見直しを実施する予定です。早い時期から処遇改善に向けて働きかけをしていきたいと思います。

- ・来館された方の質問に対応できるよう、アルバイトでも臨時職員でもあっても勉強して欲しい。はじめに対応した職員がわからなければ別の職員が対応しても良いと思う。機転を利かせる対応が必要。自分が勤務している図書館が、なぜこのジャンルの資料を収集したか答えるようにしておく必要があると思います。

事務局：はい、わかりました。

- ・去年は「利用者の声」は何かありましたか。

事務局：北杜市の図書館は世代別に分かれていないので、児童と大人が一緒になっている。そのため、子どもの声がうるさいとの投書がありました。大人と子どもを分ける計画はないので、周知して理解してもらうしかありません。

- ・件数は少ないがW i f iを設置して欲しいとの声がありました。

- ・本を返却したのに、催告書が来たとのことで、今はこまめに確認してから催告書を送っています。

- ・先ほどの話しにあった、保育園の読み聞かせをボランティアさんをお願いするというのは。

事務局：今年度中にできるかどうか難しいが、ボランティアにもやりがいを持ってやってもらえるようにしたいと思っています。

## 報 告

- 1) 事務局より資料に基づき各図書館の平成30年7月31日までの事業報告・事業計画について説明
- 2) 第3次ほくと子ども読書の杜プランを作成したので、そのダイジェスト版を添付しました。
- 3) まなびの杜パスポート事業が始まった。イベントでない時にパスポートを作成したほうが混雑を避けられるので、委員の方にも協力をお願いしたいと思います。
- 4) 6月23日(土)に土曜ことば楽が小淵沢の図書館前のライトプラザであります。第1回目は音楽講座ということで「金田一春彦先生の作品集を歌う」を開催します。定員は60名です。講師が金田一真澄先生から田中美奈子さんに代わりました。先着30名に「白いボート」の本のプレゼンがあります。

会 長：まなびの杜パスポート事業は、図書館の職員が対応しますか？

事務局：パスポートの作成は個人情報の関係があるので基本的には図書館職員が作成しますが、スタンプを押すのはボランティアさんにも協力してもらいます。

会 長：作成申し込みはありましたか。

事務局：全体で30名の申し込みがありました。

以上